

「第46回全国消防救助技術大会」出場決定!

7月22日(土)「第46回消防救助技術近畿地区指導会」が兵庫県広域防災センターにて開催され、柏原羽曳野藤井寺消防組合から陸上の部3種目(引揚救助・ロープブリッジ救出・障害突破)に6チーム28人が出場し、日ごろ練磨した消防救助技術を競いました。

その結果、ロープブリッジ救出の部(参加35チーム)でBチームが2位に入賞し、近畿地区代表として、8月23日(水)宮城県で開催されます「第46回全国消防救助技術大会」への出場権を獲得しました。

皆さん、ご声援よろしくお祈いします。



第46回消防救助技術近畿地区指導会に出場した隊員達

引揚救助

5人1組（要救助者を含む）で、2人が空気呼吸器を着装してスタート地点（塔上）より塔下に至り、検索後、要救助者を「2人搬送」により救出し、他の2人と協力して塔上へ引揚、救助及び脱出するまでの安全確実性と所要時間を評価する。



ロープブリッジ救出

4人1組（要救助者を含む）で、2人が水平に展張された渡過ロープ（20メートル）により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。建物や河川の中洲などに取り残された要救助者を、隣の建物や対岸などからから進入して救出することを想定した訓練です。



障害突破

5人1組（補助者を含む）で、4人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により5つの障害を突破します。災害現場の様々な障害を想定し、いかなる状況下においても、対応することを目的とした訓練です。



第46回全国消防救助技術大会への出場を果たしたロープブリッジ救出チーム